



匙屋さかいあつしの匙 とスプーンのうっわ。

2013年9月21日(土) — 9月29日(日)

作家在廊日 21日(土)22日(日) | OPEN 11:00-18:00 | 定休日 25日(水)

- 大磯「ラスカル」さんのスープを、さかいさんの匙で。[30食限定]
21日(土)22日(日) | 各日13時~15時 | 1200円(レロアのバゲットつき)

「さかいさんからの手紙」

縁あって牛窓町という瀬戸内海を臨む人口7000人の小さな町に越してきて半月が経ちます。思い起こすと、この移住は、もう何年も前から着想されており、幾つもの地(小田原、三重県の関町、長野県の東御市など)をそのつもりで眺めてきました。

20年を越える東京暮らしは、僕の作歴とも重なっており、かけがえのない年月を過ごしました。とはいえ、高度に意図された営みに依ってたつ街の暮らしは、僕にとって製作上の気付きや主題を掘り取ることが次第に難しくなってきた暮らしでもありました。

わずかな空き地に生えた植物やそこをウロチョロしている生き物の色や形に目がいけばいくほど、人が産み出すモノの浅さに驚きます。人が作るモノに関心が薄れつつありながらも、モノを作らねばならない僕もまた人。という相容れない命題に取り組む時なのでしょう。いつか僕の拙いスプーンやトレイが、松ボックリほどのいとおいしい存在にちょっとでも近づけることを願いながら。

2013年9月1日 匙屋 さかい あつし

檜原村から国立、そして岡山の牛窓町と、日々の暮らしを基本に、丁寧生きてこられたことが伝わって来るお手紙をいただいた。

ほんのわずかでもわけていただければと思いつつ、何も学ばない僕ですが、気持ちの良さ、すがすがしさをさかいあつしさんからほうけとってきました。孫たちが使うスプーンや木皿もだいぶ使いこまれています。何かホッとさせてくれたなあと思うばかりです。

遠くへ行くことでより強く会いにいきたい人です。

今回は、赤地健さん、イイホシユミコさん、井山三希子さん、野口悦士さん、4名の方にサジを使ってもらって、スープ皿をつくってもらいました。又、僕の大好きな大磯の「ラスカル」食堂の新井君にスープを作ってもらい食する会も催します。楽しみにおこしください。

2013年9月 店主 ● たかはしたいいち



● 赤地健 赤絵スープボウル



● 左より イイホシ、赤地、井山(白と黒)、野口各氏のうっわ

うっわ菜の花

小田原市南町1-3-12 電話 (0465)24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用[箱根口]バス停下車徒歩3分

● 次回ご案内 10月5日(土)~10月14日(月・祝) 森岡成好展 / うっわ菜の花

<http://utsuwa-nanohana.com/>